<Press Release>

2021年7月2日 ロングランプランニング株式会社

NY ブロードウェイ発祥のディスカウントチケットストア



浅草雷門前に7月9日(金)新店舗オープン

「エンタテインメントを、もっと身近なものに。」を理念とするロングランプランニング株式会社(東京都新宿区、代表取締役 榑松大剛、以下当社)は、2021年7月9日(金)、「TKTS 浅草文化観光センター」を浅草雷門前にある浅草文化観光センター1階にオープンします。



▲浅草文化観光センター外観

URL :https://tkts.tokyo/

「TKTS(ティーケーティーエス)」は、ライブエンタテインメントのチケットを当日・翌日分に限り最大 50%offで購入することができる、公式のディスカウントチケットストアです。演劇やミュージカルをはじめ、伝統芸能である能や歌舞伎、音楽ライブ、スポーツ、美術展まで、幅広いジャンルのチケットを販売しています。

この「開演直前までの販売」「割引価格」という特長を通して、どんな方にもライブエンタテインメントをもっと気軽に楽しんでいただける世の中を作り、「今日観劇しよう」を当たり前にすることをミッションとしています。

当社はニューヨークで「TKTS」を運営する「Theatre Development Fund」から 2019 年に公認を受け、同年8月29日(木)にこの日本版「TKTS」の運営を開始しました。現在は渋谷駅ハチ公前広場など全国に10店舗(東京7店舗・大阪2店舗・福岡1店舗)を展開しています。

そしてこのたび 11 店舗目となる「TKTS 浅草文化観光センター」を、2021 年 7 月 9 日(金)より浅草文化観光センター 1 階にオープンいたします。

浅草文化観光センターは、雷門前に位置し、年間の来館者数が120万人を超える(※平成30年度)日本でも有数の観光案内施設です。施設を訪れる国内外のお客様に対し、魅力的なライブエンタテインメント作品との新しい出会いをTKTSは提供してまいります。

く お問い合わせ先 >

ロングランプランニング株式会社 岡野 TEL: 03-6228-1240

Email: okano-k@longrun.biz



【TKTS 浅草文化観光センター 店舗概要】

名称: TKTS 浅草文化観光センター

所在地 : 〒111-0034 東京都台東区雷門 2-18-9 浅草文化観光センター1階

アクセス : 東京メトロ銀座線 浅草駅出口 2 から徒歩 1 分、東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン) 浅草

駅から徒歩 5分

オープン日:2021年7月9日(金)

営業時間: 【オープンから当面の間】10:00~18:00 ※平常時は10:00~20:00を予定

URL : https://tkts.tokyo/

※新型コロナウィルスの感染拡大状況等に応じて、予定を変更させていただく可能性がございます。

店舗でのチケット購入の流れ

店頭のモニターに販売ラインナップが表示されておりますので、ご希望の公演をスタッフまでお申し付けください。 代金のお支払い後、その場でチケットをお渡しいたします。

なおラインナップはウェブサイト、ならびに公式 SNS アカウントでもご覧いただけます。

※旗艦店となる渋谷店には、お客様のご希望に合わせておすすめの公演を提案する「パトロン」が常駐しています。

【会社概要】

ロングランプランニング株式会社

2004年の創業以来「エンタテインメントを、もっと身近なものに。」という理念のもとに、日本のエンタテインメント産業の市場規模拡大を目指して日々取り組み、イベント主催者への興行支援を行っています。

所在地 : 〒162-0828 東京都新宿区袋町 25番地 代表者 : 代表取締役 榑松 大剛(くれまつ ひろたか)

設立年 : 2004 年 2 月 資本金 : 3 千万円

主な事業:劇場フリーペーパー「Confetti(カンフェティ) Iの発行

チケット販売サイト「Confetti(カンフェティ)」の運営 その他興行支援、イベント主催者のサポート業務

旅行業

ディスカウントチケットストア「TKTS」の運営

URL: https://longrun.biz/

【参考: ニューヨークの TKTS について】

1973 年に NY タイムズスクエアにオープン、現在ではタイムズスクエア、リンカーン・センター、サウスストリートシーポートの 3 店舗を展開しており、ブロードウェイやオフブロードウェイのミュージカル・演劇の公演チケットを当日・翌日分限定で割引販売しています(翌日分はリンカーン・センターとストリートシーポートでのみ販売)。

繁忙期にはオープン 2 時間前から店舗前に行列ができ、1 日 7,000 枚ものチケットが売れる日もあるほど、観劇のインフラとして根付いている、ブロードウェイ・ミュージカルを語るには欠かせないサービスです。